

# 身近な地域の歴史を調べよう

～大田・絵堂の戦いから幕末の日本の特色を理解させる～

山口県美東町立美東中学校 佐藤 淳

### はじめに

地域の歴史は、学習に対する生徒の関心を高めることから、これまでもたびたび授業で取り上げられてきた。しかし一方で、実践にあたっては、多くの課題も抱えている。本稿では、大田・絵堂の戦いという地域の歴史的事象の追究から、幕末の日本という時代の特色を理解させる授業について紹介する。

### 2 これまで行なわれてきた授業の問題点

地域の歴史を追究することに終始する授業が、これまで多く見られた。しかし、これでは、

- 地域への関心を高めさせる
- 地域の具体的な事項とのかかわりの中で我が国の歴史を理解させる
- 歴史の学び方を身に付けさせる

という学習指導要領の目標を実現することはできない。地域の歴史から我が国の歴史を生徒に理解させることができるように授業を構想・展開しなければならない。

身近な地域の歴史

我が国の歴史



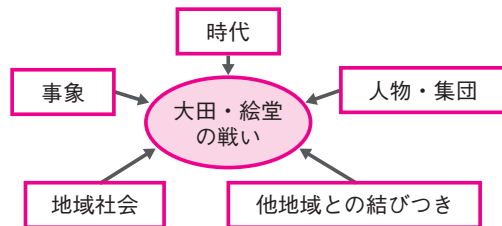
また、「調査→まとめ→発表」という形で学習が終えられることが多かった。もちろん調査の過程で生徒が活用する調べ方は学び方の一つの要素であり、それに関して様々な活

動を仕組むことには意義がある。しかし、これだけでは生徒の調査内容や生徒が有する課題を十分に検証することができず、その結果、生徒に学習内容を十分に意識させることができない。生徒が課題を意識し始めて社会的事象に対する認識を形成するまでの過程も学び方ととらえ、授業を構想・展開する必要がある。

### 3 地域の歴史における「五つの学習内容」

先にも述べたように、調査・発表形式の授業の問題点の一つは、学習内容を生徒に意識させないまま授業が展開されたことである。そこで本単元では、次の五つの学習内容を設定した。

#### 【地域の歴史の「五つの学習内容」】



#### (1) 事象

授業で取り上げる事象の客観的な情報を整理する。

- ・年代 ・場所 ・人物・集団 ・経過 など

#### (2) 時代

事象が成立した時代について明らかにする。

- ・時代 (背景) ・政権 ・主産業 ・外交 など

#### (3) 人物・集団

事象に関係ある人物や集団を明らかにする。

・人物・集団 ・人物・集団が有した価値観 など

#### (4) 地域社会

事象が成立・展開していた空間内の社会のしくみを明らかにする。

・地域の主産業 ・地域の位置づけ など

#### (5) 他地域との結びつき

事象が成立・展開した地域と他地域とのかわりを明らかにする。

・周辺地域との結びつき ・中央との結びつきなど

「大田・絵堂の戦い」を、五つの学習内容で整理したものが下の表である。

事象	・1865年 ・美東(大田・絵堂) ・高杉晋作 ・正義派 ・俗論派 など
時代	・ペリー来航 ・開国 ・開国後の混乱 ・尊皇攘夷 ・倒幕の動き など
人物・集団	・正義派(高杉晋作、奇兵隊など諸隊) ・俗論派(萩政府軍、幕府恭順派) ・欧米諸国に対抗する国づくりの方法 ・日本の独立を守る方法 など
地域社会	・長州藩 ・農業中心の生活 ・地域行政の要衝としての美東 ・交通の要衝としての美東 など
他地域との結びつき	・長州藩と江戸幕府 ・長州藩の交通 ・小郡宰判の農民の諸隊への協力 など

## 4 本単元の学習の流れ

本単元は、「大田・絵堂の戦いのネーミングを考えよう」という課題を提示し、調査活動を行わせる。その成果、ネーミングにまとめ、発表・討論を仕組む。その後、それまでの学習を振り返らせ、新たな疑問や討論で未解決の課題を意識化させ、それらを検証しながら、幕末の日本の特色や近世の美東地域について理解させていく。

## 5 調査活動の進め方

### (1) 課題との出会い

幕末の日本の歴史と長州藩の動きを年表で

提示し、大田・絵堂の戦い後に長州藩の倒幕に向けての動きが強まったことに気づかせる。そして、インドの大反乱を例にネーミングという活動に関心をもたせ、「大田・絵堂の戦いのネーミングを考えよう」という課題を提示する。

### (2) 調査計画の作成

生徒はまだ情報に乏しく、一人で調査計画を立てることは難しい。そこで、調査計画を作成する際には、教師と生徒が何度も対話を繰り返す必要がある。対話の中で、教師は生徒が有している知識や視点、スキルを確認し、指導計画の見直しに役立てる。また、生徒にも事象を分析する視点を意識化させ、調査活動への見通しをもたせていく。学び方を獲得させるうえでも、この時間は調査活動を行わせる際に、最も重要な時間である。

### (3) 調査活動

調査計画をもとに基本的には生徒が一人で活動する時間となる。本単元において、生徒は次のような調査活動を行うことになる。

史跡調査	奇兵隊の本陣となった金麗社や戦跡など、史跡を調査する。大田・絵堂の戦いについて、その概要を把握したり、戦いの際にできた弾丸の跡を実際に見たりして、大田・絵堂の戦いについてのイメージをつくる。
聞き取り調査	郷土史家に聞き取り調査を行う。大田・絵堂の戦いの概要の把握とともに、他の調査で出てきた課題を質問する。
郷土資料館での調査	大田・絵堂の戦いに関する展示資料などを見学・調査する。展示されている武器をスケッチするなどして、大田・絵堂の戦いについて、その概要を把握する。
文献による調査	町史や山口県の歴史に関する文献、観光パンフレットなどを調査する。大田・絵堂の戦いについて、その概要を把握する。

調査活動では、大田・絵堂の戦いに関する情報はもちろんであるが、たとえば史跡調査で野外に出る際には、地形を観察させるなど、様々な情報を獲得させたい。上の表の通り、生徒の調査は多岐に渡り、とても授業だけでは対応できない。そこで、積極的に土曜日・日曜日など

の休日を活用し、じっくりと調査活動を行わせる。調査活動を重視する社会科においては、休日は貴重な学習時間であるといえる。

#### (4) 「ネーミング」というまとめ方

今回の学習では、生徒が調査した内容をネーミングという形でまとめさせ、発表させる。ネーミングとは、文字通り事象に名前をつける活動である。一つひとつのネーミングには、生徒のこれまでの学習活動が凝縮され、それぞれの「大田・絵堂の戦い」観が表現される。生徒が考える大田・絵堂の戦いのネーミングは次の通りである。

・ 倒幕に向けた戦い	・ 明治維新スタートの戦い
・ 正義派対俗論党の戦い	・ 幕府恭順派对倒幕派の戦い
・ 大田・絵堂の戦い	・ 美東決戦
・ 赤間ヶ関街道決戦	・ 江戸をめざす戦い など

## 6 大田・絵堂の戦いから幕末の日本の特色や地域を理解させるために

ネーミングについて発表・討論の後、それまでの学習を振り返らせ、今後の学習課題を生徒に意識化させる。生徒は次のような課題をもつようになる。

<p>【時代】【人物・集団】について</p> <p>○なぜこの時期にペリーはやってきたのか</p> <p>○開国は日本社会にどんな影響を与えたか</p> <p>○大田・絵堂の戦いの目的は何か</p> <p>○なぜ高杉晋作らは倒幕をめざしたのか など</p> <p>【地域社会】【他地域とのつながり】について</p> <p>○美東は幕末にどんな地域だったのか</p> <p>○なぜ美東でこの戦いが行われたのか など</p>
--

これらの課題について検証し、大田・絵堂の戦いや、その背景となる幕末の日本の特色や近世の美東地域について理解させていく。

### (1) 幕末の日本の特色を理解させる

【時代】【人物・集団】に関する課題を検証していくことになる。その中で、ペリー来航から開国、開国後の混乱という時代の流れ、四国艦隊砲撃事件によって高杉晋作らが尊皇攘夷の限界、幕藩体制下の日本の限界を悟っ

たことに気づかせる。その流れの中で、大田・絵堂の戦いが藩論を倒幕にまとめ、長州藩が中央集権国家の建設に向けて動き出す転機となった戦いであることを理解させる。

### (2) 近世の美東地域を理解させる

【地域社会】【他地域とのつながり】に関する課題を検証していくために、大田・絵堂の戦いが美東で展開された背景を考察させる。長州藩の近世交通図などの資料から、美東が長州藩（山口県）の中央部に位置し、萩と下関・小郡・三田尻など山陰と山陽を結ぶ街道が集中する交通の要衝にあったこと、それに伴い地方行政・商業の中心地であったことを理解させる。

## 7 評価について

評価にあたっては、学習指導要領の目標から、次のものを評価項目として設定する。

<p>○地域への関心が高まったか</p> <p>○大田・絵堂の戦いとのかわりの中で開国とその影響について理解できたか</p> <p>○歴史の学び方が身についたか</p>
--

具体的には、学習後のレポートや評価テストを活用する。もちろん、調査活動についても顕著な活動があれば、エピソードとして記録し、高く評価していく。

## 8 おわりに

地域の歴史と通史とを関連させる授業を積み重ねていくうちに、生徒は通史と地域史を重ね合わせた地域固有の年表が作っていく。こうして、生徒は地域への関心を高め、我が国の歴史への理解を深めていくのである。今後、実践を積み重ね、事象の特性に応じた授業展開や歴史の学び方について研究を進めていきたい。